

た銅板がめ込まれています。

なお、今



回は見学できなかつたのですが、大洲小学校の校庭には、藤樹少年像があるとのことです。大洲高校の校庭はゴミ一つ、草一本なく、二階の窓からは、視線の合った高生が笑みと会釈で迎えてくれました。すれ違ってくれます。大洲城のパンフレットには、「藩政に寄与した三人の家人」のトップに「中江藤樹」が掲げられています。天守が再建される前、その位置にあって、城下を見守っていたのが『藤樹像』だつたそうです。



藤樹心学が全国に広まるに大きく寄与した一人は、熊澤蕃山です。蕃山は藤樹に師事したのは約八ヶ月でしたが、藤樹心学の心髄を体認した後、備前岡

### 第三〇回 記念館小企画展開催中

**館長 富永 雄教**

現在、当記念館では、「藤樹心学を広めた人たち」をテーマに小企画展を開催しております。

中江藤樹は、中国明代の陽明学者の王陽明の思想に共感したこと、日本陽明学の祖とも言われていますが、「孝行」や「致良知」、「五事を正す」、「知行合一」などを主な教えとする深遠なる「藤樹心学（良知心学）」という独自の思想を確立していました。そして、その過程で、百人余りの門人を抱えるようになりました。

大洲の校庭には、藤樹少年像があるとのことであります。



池田光政は、藤樹没後、高弟の中川謙叔・泉仲愛・加世季弘・中村又之丞および藤樹の三子を召し抱えました。光政は、孝を中心とする藤樹心学が武士の治者としての主体形成に有用であると考えました。

三人目は、淵岡山で、藤樹に四年間師事し、藤樹の没後、西陣に藤樹の祠堂を建てて、学館を創設し、藤樹心学の普及に努めました。岡山の門人は数百人を数え、京都や会津、大阪、美作、伊勢、江戸、熊本に学派ができるなど、藤樹学は全国に広がりました。

四人目は、蕃山の甥である岡田季誠で、常省に学び、藤樹の遺文や遺品などを収集することを志しました。また、長年月を要して「藤樹先生全書」を編纂し、これは、その後、藤樹やその思想を学ぼうとする後人のための有用な資料となっています。

そのほか、三輪執齋、佐藤一齋、大塩平八郎、村井弦齋、國府種徳なども、藤樹心学の広がりに関連して資料を展示しています。

### 藤樹記念館通信⑤

### 賛助会員一覧

ご協力ありがとうございます

○ウェストレイクホテル可以登樓

○株式会社 大山建設

○株式会社 桑原組

○有限会社 宏和商事

○税理士法人 小畠会計事務所

○有限会社 白浜荘

○社会福祉法人 新旭みのり会

○ソエダ 株式会社

○株式会社 TADコーポレーション

○鉄屋商事 株式会社

○株式会社 戸井薬局

○とも栄 藤樹街道本店

○中村印刷 株式会社

○株式会社 中村測量設計

○ニッケイ工業 株式会社

○有限会社 馬場塗装

○三田村印刷 株式会社

○有限会社 綿庄食品店

○八田建設 株式会社

○株式会社 中村測量設計

○ニッケイ工業 株式会社

○有限会社 馬場塗装

○三田村印刷 株式会社

○有限会社 綿庄食品店

(五十音順)

### あとがき

「高島の心」にも藤樹先生が：

表情が穏やかで、バタバタした動きがなく、ゆっくり時間が流れ、素直で礼儀正しい子どもたち：大洲の人々である。一方、藤本太郎兵衛、高島玄俊、松本彦平、清水安三等々の偉人はもとより、高島人の心にも、きっと藤樹先生の教えが受け継がれてきていると信じる。

(H・M)